

平成 26 年度  
学生生活実態調査報告書  
(学部・大学院)

2015 年 2 月



## はじめに

大学は、高度な研究を基にしながら、高等教育を遂行し、社会に貢献しうる有能な人財を世に輩出するための人材養成機関であります。大学の主役は、学生であり、大学は、学生が気持ち良く学問・勉学・研究に励んだり、課外活動にも打ち込める環境を作って、学生の成長・育成を後押しする責務があります。そのためには、絶えず、学生の生活実態や現況、多様なニーズを把握しながら、分析・評価し、学生の生活環境や学生支援のあり方を改善する必要があります。

広島大学では、学部学生のみを対象とした学生生活実態調査を、1990年度と1993年度、そして、統合移転が完了した後、しばらくは実態調査を行っていませんでしたが、再び2006年度に実態調査を実施しました。以降、隔年で実態調査を行い、現在は、すべての学部学生、大学院学生、専攻科生を対象として学生生活実態調査を行っています。

2014年度の学生生活実態調査は、学生生活会議のもとに、学生生活実態調査ワーキング・グループを立ち上げ、アンケート実施期間、アンケート項目、アンケート実施の周知方法及び回答率を上げるための方策を検討しました。

アンケートの質問項目については、学生生活実態の経時・経年的変化をも見て、解析したいため、これまでの質問項目をほぼ踏襲しております。しかし、社会の変化や、最近の学生生活を鑑み、新たに「Social Network Serviceの使用時間について」という項目を加えました。また、学生にとって回答しやすい適格な選択肢にするなど、工夫をしました。

実施方法は、これまで通り、「もみじ」のアンケートシステムにより行い、作成した学生生活実態調査報告書は本学ホームページで公表することにしました。また、自由記述「広島大学に伝えたいこと」については、課題領域、全学・部局等のカテゴリーに整理して、電子データにより各部局にも提供し、各部局でも有効に利用していただくことにしました。

アンケート回答率を上げるための方策について、本学の外国人留学生がアンケートに回答しやすいように、各設問を英語でも表記することにしました。また、アンケート回答者の中から抽選で100名に生協の電子マネーチャージ券1,000円分を贈呈、さらに、「本学に伝えたいこと(自由記述)」の優秀者5名に図書カード10,000円分を贈呈することにしました。これまでの学生のアンケート回答が役に立っている事をアピールするために、アンケートへの回答によって改善された事例をポスターに記載し、学生に周知することにしました。具体的に言うと、「霞キャンパスの食堂が狭いという声を受けて、霞会館が今春からリニューアルオープンしました」という文言を掲載しました。

アンケートは、2014年10月1日(水)～11月7日(金)の期間に、実施しました。全学生14,905名中、回答者数は2,111名、回答率14.2%(学部生14.1%,大学院生14.2%)でした。

「本学に伝えたいこと(自由記述)」では、「(来年度から施行される)4学期制の導入について十分に説明する機会を設けてほしい」、「1年間留学しても4年間で卒業できるカリキュラムの設定をしてほしい」、「留学生向けの就職・資格情報を充実させてほしい」、「海外大学と単位互換できるようにしてほしい」、「経済的支援を充実してほしい」という意見や、「自転車の駐輪マナーの悪さ」、「外国人留学生への対応が不十分、外国語で書かれた通知文が少ない」という声もありました。学生から、的を得たありがたい意見が、たくさんありました。これらの声を無駄にしないよう、できる限り、学生にフィードバックしたいと思います。

最後になりましたが、今回のアンケートに回答、協力してくれた学生たち、アンケートの検討、学生生活実態調査報告書のためのデータ分析にご協力いただいたワーキング・グループ委員や関係事務・教職員の皆様、さらに、関係事務の支援を行っていただいたワークスタディスタッフの学生に、心より御礼申し上げます。

本学生生活実態調査が、広島大学の学生生活の改善に、また、学生支援の充実に繋がり、結果的に、有能な人財を世に送り出すことに貢献できることを願ってやみません。

平成27年2月

広島大学副学長(学生支援担当)

江坂 宗春

# 目 次

## I 調査の概要

1 調査期間, 調査対象, 調査方法	1
2 回答者の内訳	2

## II 設問と回答分布

### 【学 部】

1 大学生活において大切にしているもの	3
2 学内外のクラブ・サークル活動への参加	3
3 大学の行事への参加	4
4 ボランティアや地域活動への参加	4
5 アルバイト	5
6 大学構内での滞在時間・場所について	6
7 大学構内でくつろいで過ごせる場所	8
8 1ヶ月の生計費(収入・支出)	8
9 1週間の学習時間	12
10 所有もしくは占有している物	14
11 Social Network Serviceの使用状況について	14
12 犯罪やトラブルなどの被害経験	15
13 交通事故の経験	15
14 喫煙及び飲酒の習慣	16
15 薬物(大麻等・覚醒剤)や危険ドラッグ等について	17
16 授業以外の学生生活の充実度	17
17 授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス	18
18 学生生活の悩み	18
19 チューターへの相談と相談内容	19
20 現在の健康状態	19
21 身体面・心理面の悩みの解消	20
22 友人との関係	20
23 教員との関係	21
24 学生交流スペースの利用	21
25 所属学部の学生支援室の対応	22
26 学生プラザの学生支援部門の対応	23
27 本学の教育・学習, 学生生活などの全体的な満足度	23
28 居住形態	24
29 通学方法	24

## 【大 学 院】

1	大学生活において大切にしているもの	2 5
2	学内外のクラブ・サークル活動への参加	2 5
3	大学の行事への参加	2 6
4	ボランティアや地域活動への参加	2 6
5	アルバイト	2 7
6	大学構内での滞在時間・場所について	2 8
7	大学構内でくつろいで過ごせる場所	3 0
8	1ヶ月の生計費（収入・支出）	3 0
9	1週間の学習時間	3 4
10	所有もしくは占有している物	3 6
11	Social Network Service の使用状況について	3 6
12	犯罪やトラブルなどの被害経験	3 7
13	交通事故の経験	3 7
14	喫煙及び飲酒の習慣	3 8
15	薬物（大麻等・覚醒剤）や危険ドラッグ等について	3 9
16	授業以外の学生生活の充実度	3 9
17	授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス	4 0
18	学生生活の悩み	4 0
19	チューターへの相談と相談内容	4 1
20	現在の健康状態	4 1
21	身体面・心理面の悩みの解消	4 2
22	友人との関係	4 2
23	教員との関係	4 3
24	学生交流スペースの利用	4 3
25	所属学部の学生支援室の対応	4 4
26	学生プラザの学生支援部門の対応	4 5
27	本学の教育・学習，学生生活などの全体的な満足度	4 5
28	居住形態	4 6
29	通学方法	4 6
Ⅲ	資料 学生生活実態調査アンケート項目（もみじ画面）	4 7